

私たちの原点

『統合報告書 2018』を最後までお読みいただき、ありがとうございます。
 今回の統合報告書では、リニューアルしたロゴを使用し、デザインを展開しています。

セプターニグループは創業から現在に至るまで、さまざまな変革を経験してきました。
 そして、現在もさまざまな変革を目指しています。

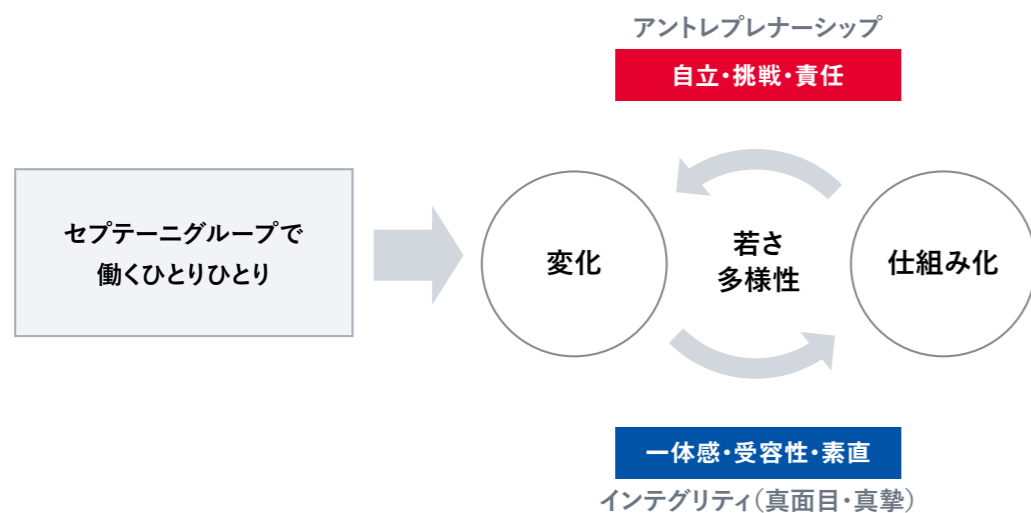
このような中で、「セプターニグループが今、目指す姿とは何か？」
 「あらためて企業としての在り方を、デザインすべき時機にあるのではないかと、考えました。
 今回のロゴリニューアルは、その取り組みの一環として始まったものです。

新たなロゴ制作にあたり、社内外のたくさんの方の声を聞き、
 その声を反映したコンセプト、デザインに落とし込んでいます。
 このロゴ決定までの経緯を少しご説明したいと思います。

まず、セプターニグループの「現在地」を確認することから始めました。
 セプターニグループが掲げる「ひとりひとりのアントレプレナーシップで世界を元気に」というミッション。
 そのミッションが映す「未来」に対して、セプターニグループの「現在地」はどこにあるのだろう。
 ミッションが映す「未来」と、「現在地」との位置関係を可視化しました。

そしてその「未来」と「現在地」は、これまでの「過去」があつてこそ。
 「過去」からどういった過程を経て、「現在地」に至っているのか。
 何を变え、何を残して、どんな「未来」を目指すべきなのか。

その後、セプターニグループを形づくる要素も抽出し、
 セプターニグループのこれまで形成してきた価値や、これから目指すべき姿を整理しました。



セプターニグループはこれまで、相反する「変化」と「仕組み化」を行き来し続けることで、進化してきました。
 それを実現できたのは現場にいる社員の「若さ」と「多様さ」ゆえ。
 これこそが、セプターニグループのアイデンティティではないか。

さらに、2つの相反するアイデンティティを行き来するサイクルを活かし続け、
 パラドックスな状態を健全に保つために、いかにバランスをとっていくか。

そのためには、個々が変化を受け入れ、自立・挑戦するというオフェンシブな面(つよく)とともに、
 素直で受容性が高く、人が良いというディフェンシブな面(やさしく)も必要です。
 この2つのバランスをとりながら、おもしろがること。
 仕事をおもしろがりながら、ネアカにやっていくこと。
 これが、「つよく、やさしく、おもしろく。」というコンセプトとなりました。

つよく、 やさしく、 おもしろく。

ひとりひとりの
 アントレプレナーシップで
 世界を元気に。

どんなときも起業家精神を持ち、
 変化の大きい方を選んで結果を出す「つよさ」。
 成功体験や成長機会を仕組み化し、
 多様性を認めながら皆で共有する「やさしさ」。
 決して簡単ではないものを、
 楽しみながら独自のやり方で実践する「おもしろさ」。
 私たちは、これら3つの力で、
 新しい市場に、新しい世界に挑戦する。

この3つをそれぞれ異なる個性としてカタチで表現し、
 それらを集合させることで、セプターニグループならではのひとりひとりの力や多様性、一体感を伝えたい。
 そして、シンボルマークは、「セプターニ(Septeni)=7つずつ」にちなんで、
 7つの円から構成される図式をもとに、コンセプトである3つの表現をデザインしています。



さまざまな経緯、選択肢を含めて、結果的にたどり着いたのは私たちの「原点」とでも言うべき景色だったように思います。

私たちは、ミッション「ひとりひとりのアントレプレナーシップで世界を元気に」の実現に向けて、
 セプターニグループ一丸となって挑戦を続けていきます。

